つながる世界　つなぐ未来

浦高だより

第 107 号（令和5年2月15日発行）

北海道浦河高等学校
（全日制　総合学科）

〒057-0006 浦河郡浦河町東町かしわ 1-5-1
TEL：(0146)22-3041　FAX：(0146)22-2814
URL：http://www.urakawa.hokkaido-c.ed.jp/
e-mail：urakawa-z0@hokkaido-c.ed.jp

社会との共創プロジェクト

実社会での課題解決に向けて、大学や研究機関、企業、自治体等と連携しながら探究活動に取り組むプロジェクトです。

1 アントレプレナー教育型プロジェクト

大学や企業と連携し、課題解決を目指す。

私たちは「住み続けられる町づくり」に欠かせない、事業承継を活性化するにはどうしたらよいか考えました。実際に移住・Uターン創業者の方を中心にインタビュー調査を行い、現状を把握しました。

その結果、地域をＰＲし移住者や新規事業者を外部から呼び込むこと・若者の起業に対するマインドを高めることができれば、地域の活性化につながると考えました。これからは体験移住から創業の流れを実現するための取り組みや、起業に関する講演を実施し、起業マインドについて学ぶ機会を作る予定です。

２年Ｃ組　芳賀　凛音

◀町内でインタビュー

◀事業継承について調査

◀地域観光について議論

◀今後も取り組んでいきます！

私たちは町内の馬の観光に注目し、郵便局と協働して課題解決を目指しました。

その過程で私たちは日交ハイヤー様の行う「サラブレッドタクシー」という馬にまつわる観光事業の存在を知り、研究を深めるなかでサラブレッドタクシーの課題を郵便局の強みを活かして解決できないか考えました。

プロジェクトを進めるにあたって、今後は関係企業や機関と話し合いを重ね、実現に向けた行動を継続していきます。町内の観光を盛り上げるべく熱意を持って、今後も取り組んでいきます。

１年Ｃ組　佐藤　竜郎

私たちは、浦河町堺町にある夏いちごスイーツ専門店「いちご屋」様と協働し、浦河町の名産である、夏いちごの認知度を高めて地域活性化を目指す「いちご屋で心つながる浦河町」プロジェクトを行っています。今回の活動では、店の土地契約問題や冬に使ういちご問題の解決に向け、お店側と共に新商品開発をしました。とても貴重な経験ができたと思います。

今後「いちごプリン」が販売される予定なので、ぜひいちご屋を訪れて購入していただきたいです！

１年Ｃ組　森田　紗來

◀商品を考案中

▶調査を進めています！

2 地域課題型プロジェクト

自治体と連携し、地域課題解決を目指す。

◀ツールを考案中

▶町内で実践中

私たちは、地域の課題は浦河町に限ったことではなく、全道・全国にも共通する課題ではないのかと考え、地域課題について考えることのできるツールの開発をしています。それが「地域の未来は終わらないスゴロク」通称「FOCUS」です。

実際に浦河町まちづくりワーキンググループの方々にプレイしていただき、現在はバージョン３の開発を進めています。最終的には全国で使用してほしいので商品化まで進めるのが私たちの目標です。

２年Ｂ組　木村　朱羽

地域課題型プロジェクトのグループは１／２１に行われた発表会の結果、代表校に選出され、３／１１北海道大学で行われる全道成果発表会「探究チャレンジ・北海道」にて発表を行います。

３年次課題研究報告「サットサンガ」

◀研究メンバー

◀全道発表の様子

２月７日(火)に旭川南高校で行われた、令和４年度北海道高等学校総合学科学習成果発表会に参加し、サットサンガの活動や多文化共生の考えを他校の生徒と共有することができました。

また、私たちは２年次生３名を新たに仲間に加え、２月26日(日)のサットサンガ２に向けて、浦河日印友好協会、地域おこし協力隊の方々に協力をしてもらいながら、準備を進めています。サットサンガを通して、日常的に国籍関係なく交流できる町にしていきたいです！

３年Ｃ組　林　陶子

「浦高だより」はカラー版で浦河高校ホームページからもご覧いただけます。（http://www.urakawa.hokkaido-c.ed.jp/）